



愛知県板金工業組合
発行 広報委員会
名古屋市昭和区北山町
3-8-6 〒466-0006
電話 052-732-1226

第四回常務理事会・理事会開催

賦課金値上げに 関する協議ほか

県板三階会議室

愛知県板では平成十年二月二十四日午後一時より県板三階会議室で常務理事会を開いて次の議案を審議した。

1、各委員会報告を吉田専務理事が行った。

滋賀県板と懇談会

9・10・7

三役会議 六回

常務理事会 三回

理事會 三回

経営技術合同委員会

4・15

総務委員会 四回

広報委員会

毎月28日前後

技術研究委員会 三回

技能委員会 四回

厨房空調委員会 二回

経営研究委員会 一回

保証委員会 三回

厚生委員会 二回

行事は総代会や全板大会など十回

関係機関の行事へ参加

現在までに百三十五回

表彰 七種二十二名受賞

2、賦課金値上げの件

先回の理事会でも審議された値上げの件は、収支が悪化してどうしても値上げしなくてはならない状況であり、四月から月額二千元に値上げを申し合わせた。

3、中部板金工業組合協議会（中板協）二十周年記念行事について。

金沢で六月十三日に開催される。県板では十三・十四日の一泊二日の行程で二十名以上の参加を目標で検討。

4、全板熊本大会の件

全板熊本大会の参加者が現在では二十六名であるが何とかバス一台になるよう参加をお願いする。

5、名簿作成の件

五年ごとに新しくしている組合員名簿を、今年度で作成することになっているので、各支部は三月末までに提出するように。また名簿作成には広告を依頼することになるが、総務委員会で良く検討することとした。

6、その他

保証制度の四科目の講習を、二日間で開催するように保証および技術委員会に検討する事を申し合わせた。

以上のような各議題を協議して、午後三時から開催される理事会に送った。

4、全板熊本大会の件

保証制度の四科目の講習を、二日間で開催するように保証および技術委員会に検討する事を申し合わせた。

以上のような各議題を協議して、午後三時から開催される理事会に送った。

4、全板熊本大会の件

保証制度の四科目の講習を、二日間で開催するように保証および技術委員会に検討する事を申し合わせた。

以上のような各議題を協議して、午後三時から開催される理事会に送った。

4、全板熊本大会の件

保証制度の四科目の講習を、二日間で開催するように保証および技術委員会に検討する事を申し合わせた。

以上のような各議題を協議して、午後三時から開催される理事会に送った。

4、全板熊本大会の件

保証制度の四科目の講習を、二日間で開催するように保証および技術委員会に検討する事を申し合わせた。

以上のような各議題を協議して、午後三時から開催される理事会に送った。

4、全板熊本大会の件

保証制度の四科目の講習を、二日間で開催するように保証および技術委員会に検討する事を申し合わせた。

以上のような各議題を協議して、午後三時から開催される理事会に送った。

4、全板熊本大会の件

保証制度の四科目の講習を、二日間で開催するように保証および技術委員会に検討する事を申し合わせた。

以上のような各議題を協議して、午後三時から開催される理事会に送った。

4、全板熊本大会の件

保証制度の四科目の講習を、二日間で開催するように保証および技術委員会に検討する事を申し合わせた。

以上のような各議題を協議して、午後三時から開催される理事会に送った。

4、全板熊本大会の件

保証制度の四科目の講習を、二日間で開催するように保証および技術委員会に検討する事を申し合わせた。

以上のような各議題を協議して、午後三時から開催される理事会に送った。

4、全板熊本大会の件

東京ビックサイト

第五回空調・衛生総合機材展見学

企画 厨房・空調委員会

が展示されている。

愛知県板金工業組合、厨房空調委員会（石濱陽夫委員長以下六委員）では東京有明の国際見本市会場の東京ビックサイトに開催されている、第五回空調・衛生総合機材展を二月二十一日の行程で見学会を開催した。

見学会については、昨年九月に講習会についてアンケートを採り、参加するとの回答があった支部に募集の案内を出して参加を募った。

県板九支部から二十名の参加者があり、新幹線で会場入りした。

今回は金属加工機械メーカーの「アマダ」の協力で、参加費用が格安で開催された。

東京が一月の大雪で足止めになり、話題になった新交通システムの「ユリカメ」に乗り、新橋からフジテレビのあるお台場を通り、有明のビックサイトに入った。

東京湾の埋め立て地にできた巨大な施設に、百四十社の企業が出展している会場に入り、ダクト関連の展示場から見学した。会場は火気使用ができないため、プラズマやレーザー切断の実演ができないの

で実演コーナーは少なく展示コーナーがほとんどであった。

ダクトの吊り金具に関する製品や、墨出し用のレーザー墨出し器に新製品があり、簡単に使いやすく、値段もずいぶん安くなっている。

最近のダクトは、フランジが一体式工法が多くなり、コーナービス自動カシメ機やダクトハゼ締め機なども開発されていてびっくりした。ハゼ締めは従来ガンガン音がしてうるさいのが全く音なしで、ダクトが成型されていくのは作業環境がとても良い。

見学は自由行動で、夕食まで池袋のホテルへ集合すればよいので、三時間あまりゆっくり見学できた。

宿泊は池袋メトロポリタンホテルで一泊、二日目は観光バスで東京都庁を見学の後、神奈川県立伊勢原市にある金属加工機械メーカーの「アマダ」の展示場を見学した。

展示会場は赤と黒の「アマダ」色の機械が所狭しと陳列されている。切断では巾狭い板を切断しても反りがでないシャヤ、切断では高速で切断面がきれいなレーザー加工機など

が展示されている。

ベンディングコーナーではロボットを使った全自動加工機がコンピューターで人間並みに成型しているのを見て驚くばかりである。値段が又すごい。一億もするという。アマダでは八千七百六十時間連続稼働を提案しているという。

機械を二十四時間三百六十五日動かす、と言うことだが消却するには随分時間がかかるようだ。

また最新のベンディングでは上金型がワンタッチで交換できる装置や、下金型が三カ所で微調整ができ反りのない正確な角度の加工が出来るベンディングが展示されていた。

昼食も「アマダ」でいただき、三時間の見学であったが、すべての展示機械を見学するにはまだ時間が足りないくらいで、プレスの展示場は駆け足で通り過ぎた。

今回の見学会は、中部ダクト組合の組合員も十五名の参加があり、総勢三十五名の見学研修会であった。小田原から新幹線で、帰り午後五時三十分名駅で解散した。

報告 鷺見

報告 鷺見

報告 鷺見

報告 鷺見

報告 鷺見

報告 鷺見

報告 鷺見

報告 鷺見

報告 鷺見

報告 鷺見

第20回全国建築板金

競技大会に応援参加して

2月17・18日静岡県静岡市登呂3-1-35にある「ポリテクセンター静岡」にて、青年部建築板金競技大会が開かれました。

今年の課題は、技能競技の部は「水屋流し」の作成を、建築技術の部は「R屋根に段葺き施工に伴う各部施工図の作成」でした。

愛知県より技能の部に、片山匡裕君と酒井克幸君が、技術の部には、藤井秀幸君に宇野勝義君の四名が参加した。他県から技能競技に27組合より42名、建築技術に14組合から18名が出場しました。

17日12時30分より選手受付の後、13時30分より開会式が始まり、大会会長代理の宇野



愛知県板の選手

万木男全板副理事長は、

「今、長野県では、冬季オリンピックが開催され、日本選手が連日大健闘中です。皆さんも日ごろの成果を今大会で発揮してほしい」との挨拶。

来賓の静岡市長小島善吉氏から「当市には久能山東照宮

があり、屋根や飾りに多くの銅板が使われています。施工技術も後世へと引き継がれています。この地で全国各地より参加された青年部の競技大会が開催されることをうれしく思います」と激励。

開会式終了後、技能競技と建築技術の選手はそれぞれの会場に別れて、競技上の注意事項や持参工具点検を受ける。

夕方バスにて宿泊先のホテルアソシア静岡ターミナルに移動。18時30分より懇親会が、愛知県板金青年部長の河田雅彦君の司会で開催。

会食中、各県板選手と付添い者より明日の競技大会への決意表明が始まり、愛知県は副部長の筒井和幸君が「今回も上位入賞をねらいます」と決意を、又他県板は、「いつも2位に甘んじているので今

年は1位になりたい」??

『埼玉県板の建築技術の部』懇親会は盛り上がり、料理はすべて食べて20時、お開きとなったが、二次会に行く人、静岡の夜の町中に消えた選手も多くいたようだ。

18日午前8時より競技開始。

競技終了は四時間後の12時付添い者は、四時間の時間を技能競技会場を窓越しにのぞき製作課題の、0・4%銅板で作成する水屋流しの作業進行を見守っていた。

競技終了後、選手と一緒に集められた作品を見比べ、出来栄を心配しながら、見て回った。

時間内に仕上がらない作品や、完成しているのに水上側に落口を付けてしまった作品などもあり、競技大会で実力が出せずに残念です。

建築技術は施工図を製図するため、会場内を見ることができ、会場近くで会話ができないほど隔離されていた。終了後、図面は裏返し他の選手作品を見ることができなかったとのこと。役員が作

品の名前の上に紙を張り、回収後別室にて審査をするため部外者はだれも見られません。審査基準が技能競技の様に、作品は寸法・外見・水漏れなどを減点して審査するが、建築技術では明確な基準がなく、審査の建築事務所の先生や、

建設省の専門官・役員の意向による所が多くなる。閉鎖的とは言えないが、毎回、建築技術に参加する選手が20名前後で少ない。技能競技では毎回30名以上の選手が参加。

20回目の技能の部に對し、9回目の建築の部では差が有りますが、だれでもが一度は参加してみたい課題や、審査基準を明確に示すなどの改善を希望したい。そうなれば県予選でも、参加選手も多くなるのではと思う。

第19回県板青年部

技能競技大会

平成10年1月11日(日)

岡崎技術工学院において競技大会県予選が開催されました。

「技能競技の部」

今回の課題は水屋流し(材料0・4×36・5×12×12の銅板)で、各支部より選ばれた8名が挑みました。

選手名

片山 匡裕 岡崎支部

早川 隆志 中川港

服部 健司 中川港

北河 秀治 東三支部

伊藤 茂喜 東三支部

池田 智和 碧南支部

小笠原 誠 碧南支部

酒井 克幸 安城支部

また、「建築技術の部」の出場選手は、次の3名です。

選手名

藤井 秀幸 東三支部

岩崎 崇 安城支部

宇野 勝義 岡崎支部

この3名が、工事図面施工図に挑みました。

本大会は、第20回全国建築板金技能競技大会の県予選で、日ごろの実力を発揮して頂きました。司会進行を筒井副部長の開会宣言で始まり、河田県青年部長の挨拶に続いて、来賓である、県板村上理事長に激励のお言葉を頂いた後、県青年部担当理事高柳氏からお言葉を頂きました。その後、県青年部担当の高橋氏から競技に対する心がまえ、及び注意事項についてお話しがありました。

つきましては、道具検査の後、例年通り展開図持参で競技を行います。標準時間3時間で行いました。建築技術の部につきましては、3時間45分以内で行いました。また、今回の競

技会県予選を担当された、名古屋ブロック青年部の皆様の運営協力により、公平かつスムーズに行われました。競技終了後、昼食をとり、閉会式がありました。続いて別室において、作品の審査が行われ、慎重な測定、審査の結果、技能競技の部は、片山君(岡崎)と酒井君(安城)が愛知県代表に選ばれ、建築技術の部は、藤井君(東三)と宇野君(岡崎)に決定しました。以上の4名の方は、平成10年2月17日、18日の両日、静岡県ポリテク静岡にて行われる、第20回全国建築板金競技大会に、愛知県代表として参加して頂く事となりました。日ごろの実力を発揮される事を期待します。

西尾 筒井

▼新問屋シリーズ▲

愛知県亜鉛鉄板問屋会

会員会社紹介

第十五回 株式会社 名古屋下村商店



代表取締役社長

下村 義治氏

鉄製品は大阪、鉄板や金物類は関西製が多いように思うのは私だけだろうか。

下村商店へインタビューの電話をして電話機の向こうに下村社長の声を聞き、なぜか以前から何度もお会いしたような錯覚を覚えた。お話しするのは初めてであり、むしろお会いしたことなどあるわけがないのに、なぜか？ 言葉が関西弁なのである、話がとても軟らかいというか、親しみがわいて来ってしまう。

今回は、そんな関西弁で話される西宮市出身の下村義治社長の会社、(株)名古屋下村商店を紹介する。下村商店は初代下村治郎一氏が昭和二十二年七月、戦後の復興期に鉄鋼二次製品を提供する使命を持って資本金百八十万円で名古屋市中区南園町に設立。その後事業の進展や事業の多角化に伴い、増資や社名の変更を経て現在に至る。

義治氏は昭和三十五年関西学院大学法学部を卒業後、針金メーカーの日本鉄線(株)に入社、現場修行を一年、営業資材関係を五年間修行して、昭和四十一年、(株)下村商店大阪特殊製線(株)取締役に就任、昭和四十八年、(株)名古屋下村商店取締役に就任、昭和五十年、創業主下村治郎一氏死亡により、代表取締役に就任して現在に至る。

昭和三十三年七月三日
本社所在地
名古屋市中川区広川町三丁目一番地

代表取締役 下村義治

昭和三十三年三月三日生

資本金 授権資本 四千万円

払込済資本二千万円

従業員 十二名

事業内容

鋼材、丸釘、針金、鈍線、鉄線、亜鉛鉄板等鉄鋼一次二次三次製品機械工具化成品等

頭在製品の販売卸及びそれに付帯する事業

社 是 和心協力・相互信頼・自己啓発・心償必罰

「顧客のニーズに応える鉄鋼問屋」を目標に「人のつながりを大事に」が信条

驚見

趣味はゴルフ、野球、旅行

商号

株式会社

名古屋下村商店

創業

昭和二十二年

七月一日

創業主

下村治郎一

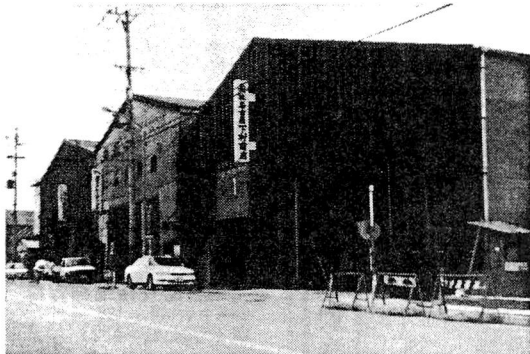
創業地

名古屋市中

区南園町

御園座の西あたり

会社設立



本社 社 屋

第46回岡崎板金工業組合通常総会開催

平成10年2月22日に、岡崎レクワールドにおいて、岡崎板金工業組合の総会が開催されました。組合員69名、出席51名でした。

最初に組合長高柳氏により

第46回岡崎板金工業組合通常総会



あいさつする高柳組合長

一年間の総括を述べられました。岡板組合マークの発表、FAXを利用しての岡板FAX伝言板の実行など、行動的な高柳氏の活動が沈みがちな組合状況に、新しい活気を呼び起こしています。これからますます行動的な組合長である事を期待します。

従業員表彰、議案審議、組合活動報告と進み、休憩をはさみ、県板理理事長村上章氏、横山興業社長横山氏が、祝辞を述べられました。

平成10年度組合スローガン「自分の安全は自分で守れ 自分家族の安心」組合員全員での唱和を終え、総会は無事に閉会し、恒例の講演会へと進めました。

△△西尾板金組合新年総会▽▽▽

西尾板金組合三十一名は、一月二十七日、二時半より平坂勤労会館において高柳板金組合理事長代理、山本西三連合会会長、吉田事務局長をお迎えして新年総会を行いました。昨年は稲吉一郎氏、朝岡達也氏、石川政一氏、毛利清氏がお亡くなりになりましたが、会議の前に冥福を祈り、黙祷を捧げました。今年の総会の主な議題は、組合費を月五千円から七千円への値上げ

でした。付加金の値上げと活発な組合活動の維持の為に値上げは必要でした。それに伴い、金を使わない様に例年の組合旅行を隔年おとし、間の年を地元の宴会で済ます事に決めました。私達西尾板金組合は、総会の終わりに五人の班長を決めますが、役付きの人は班長は免除となっています。それは班長も役員会に出席する事により、多くの組合員に、組合活動を理解し

組合員の奥様方10数名も入場されて、「こころ健康づくり」と題して竜美ストレス心療クリニックの医師平田進氏から話を伺いました。ストレスと病気の関係を実に易しい言葉で説明され、有意義な時間であったと思います。

平田医師の有意義な話を聞き、定刻より少し遅れて懇親会が始まりました。今回の懇親会では、組合長の発案により福引きが行われました。副幹事長梅林氏の名司会ぶりにより、来賓者、奥様方を含め全員、実に楽しい総会後の懇親会となりました。

尚、この後、役員、奥様方共々、前組合長石原氏の音頭によって20数名、カラオケで歌い語り、楽しい二次会を過ごしました。岡崎 中西

て貰いたいとの役員さん達の想いです。西尾 大橋



審 議 中

豊田板金組合

親睦ボーリング大会を開催

豊田板金組合(西保 章組長)は、去る1月24日(土)豊田市元町の美鳥里ホールに於いて、親睦ボーリング大会を開催しました。参加者は18事業所64人でした。ゲームは午後6時にスタートし、2ゲームのトータルピンで順位を争いました。ゲーム終了後、場所をミートングルームに移して表彰式を行い、1位・中根圭介氏(中根板金)、2位・松井辰雄氏(マツイ板金工業)、3位・山下従道氏(南コダマ

板金工業)という結果になりました。今回は、ひさしぶりの大会でしたが、企画委員会(河合澄夫委員長)の設営、健闘により多数の組合員さんに参加をいただき、横山興業(株)(問屋)様もたくさん参加していただきました。また賞品も盛り沢山で、パラエティーに富んでいました。参加された方全員が楽しめた、ボーリング大会であったと思います。

豊田 松井



▲\$研親会参加者

第十五回 \$研親会開催

さる「二月十七〜十八日」、長野オリンピックに沸上るなか、(株)池田商店「\$研親会」第十五回総会を兼ねた、見学旅行会が開催されました。平日にもかかわらず、早朝より名駅西に集合(会員、及び池田社員、メーカー商社の方多数参加され総勢九十名)。あいにくの冬型天気の中、西名阪を奈良市に向かい一日目の見学地「大和ハウス工業 総合技術研究所」へ。大阪府、京都府、奈良県にまたがる関西文化学術研究都市の一角に、

大和ハウス工業の創業四十周年記念館として建てられた近代的な建物。その中にテーマ館、各種実験施設、実験住宅を造り、環境にやさしい快適な住宅造りを見ることが出来ました。将来、自分もこんな家に住む事が出来たらと思うを残し研究所を後にした。時雨もようの京都、嵐山を散策して、早々に今日の宿泊地「湯の花温泉、深山閣」に向かい、到着後直ちに「総会」を開催し、続いて懇親会に入り(メーカー、商社十七社の

(伊藤)

1998年度
訓練生募集
訓練で技能を磨こう!!

愛知県板金技能専門学校
名古屋市中区浅間2-10-4
☎(052)532-0262

碧南建設高等職業訓練校
碧南市新川町1-129
☎(0566)41-4523

岡崎技術工学院
岡崎市羽根町字小豆坂117-3
岡崎地域職業訓練センター内
☎(0564)53-3521

豊田高等職業訓練校
豊田市陣中町1-22-2
☎(0565)32-5454

豊橋高等技術専門学校
豊橋市前田南町156
豊橋市職業訓練センター内
☎(0532)55-0519

▷詳細は各訓練校にお問い合わせください。

2月各支部の動き

支部	役員会	支部月例会
昭和支部	9日	14名
緑支部	5日	4名
21日	平成9年度決算総会	12名
熱田南支部	小牧支部	一宮支部
1日	夕食会	7名
25・26日	親睦旅行(秋葉山)上社参拝・館山寺温泉泊・浅間神社参拝・丸子丁字屋梅園	27名

25日	三役会	6名
22・23日	親睦旅行(勝浦)	34名
12日	青年部定例会	9名
8日	青年部パソコン勉強会	7名
4日	支部定例会	26名
20日	理事役員合同委員会	24名
13日	理事会	15名
11日	新旧役員会	11名
11日	10年度第1回役員会	17名
15・16日	支部総会(伊勢)	19名
23日	三役会	7名
14日	第9回役員班長会	51名
2日	青年部定例会	51名
22日	第46回通常総会	15名
16日	役員会	4名
7日	定例会	15名
15日	支部役員会	6名
5日	定例会	10名
14日	支部役員会	15名

編集後記

荘厳な善光寺の鐘の音に続いて日本の国技と信州の伝統文化の競演で開幕した「冬季五輪・長野大会」。世界七十二カ国から参加した選手たちの十六日間におよぶ熱戦と感動のドラマの始まりである。四年間この日を目指しメダルを夢見て日夜厳しい練習に励んだ選手たちの晴れやかな笑顔と喜びがテレビ画面からでも手に取るように伝わる。そして真っ白な雪の精に扮した子供達がとても可愛かったし、選手たちのカラフルな衣装が白色の世界に鮮やかに彩りを添えて楽しませた。期間中、毎夜その日の熱戦ハイライト放映に見とれてつい睡眠不足が度々になる。大回転のど迫力、千分の一秒を競うスピードスケート、観客を魅了した銀盤の舞いフィギュア、一番人気のジャンプ、新種目のモーグル、頭脳プレーのカーリングなどなど。金銀銅メダル十個は日本新記録とか。長野五輪大成功の陰には、大会関係者、長野県民ボランティアの皆さんの大きな力添えを忘れてはならない。二月二十七日(金) 晴 三二五号 編集会議 委員 7名 出席 午後五時二十分終了(s)